

## 社会医療法三栄会ツカザキ病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	「パーキンソン病患者における他のドパミンアゴニストからハルロピ®テープへの切り替え時に発生する有害事象のリスク因子を検討する過去起点型コホート研究」(No.211061)
当院の研究責任者 (所属)	朝山真哉 (脳神経内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	関西医科大学附属病院・脳神経内科 研究医員 峠 理絵
本研究の目的	貼付剤であるハルロピ®テープ（主成分：ロピニロール）は、薬剤の血中濃度を一定に保ち、パーキンソン病進行期に出現するジスキネジアや薬効低下に伴って出現するウェアリングオフといった運動合併症を軽減することが期待されています。一方、他のドパミンアゴニストから同剤に変更した際、耐えがたいジスキネジアや幻覚などの有害事象が発生し、同剤の減量や変更を必要とする患者様がおられます。有害事象の発生頻度とそのリスク因子を見つけ、患者様が有害事象を発生することなくスムーズな治療を継続できるようにするために、本研究がおこなわれます。
調査データ 該当期間	研究許可日～2022年9月30日
研究の方法 (使用する試料等)	・対象となる患者さん パーキンソン病の患者さんで2019年12月17日から2022年6月末日の間に、既存の換算表を用いて他のドパミンアゴニストからハルロピ®テープに切り替えた方を対象とします。 ・利用する情報 電子カルテから得られる診療情報、手術記録
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	この研究組織以外の他の機関への試料・情報の提供はありません。 データセンターへのデータの提供は、電子的配信（Eメール等）で行われ、特定の関係者以外がアクセスできないようにデータにパスワードを設定した状態で行います。対応表は各機関の研究責任者が保管・管理します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：079-272-8555（社会医療法人三栄会ツカザキ病院代表） 担当者：朝山真哉
備考	研究に同意しないことまたは同意を撤回することによって不利益な取り扱いを受けることはありません。